

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 身近に見られる動物の活動や植物の成長を季節と関係付けながら調べ、見いだした問題を興味、関心をもって追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と環境とのかかわりについての見方や考え方を養う。 空気や水、ものの状態の変化および電気による現象を力、熱、電気の働きと関係付けながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究したりものづくりをしたりする活動を通して、ものの性質や働きについての見方や考え方を養う。 月や星の位置の変化、空気中の水の変化の様子を時間や水の性質と関係付けながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、月や星の動き、水の変化についての見方や考え方を養う。 	
	学期	学習内容・到達目標
前 期	春と生き物 ・動物や植物を観察し、あたたかい春の季節での生き物のようすをとらえることができる。	後 期
	天気による気温の変化 ・晴れや曇り、雨の日に、一日の気温の変化を調べ、天気によって一日の気温の変化のしかたに違いがあることをとらえるようにする。	
	体のつくりと働き ・運動しているときのヒトやほかの動物の体の動きについて、骨や筋肉のはたらきと関係づけながら関心を持ち、ヒトの体のつくりと運動について理解する。	
	電気のはたらき ・光電池を使ってモーターなど動かすことができる。 ・乾電池の数やつなぎ方と、電流の強さとの関係に気づくことができる。	
	夏と生き物 ・春に調べた動物や植物を観察し、暑い夏の季節での生き物のようすをとらえることができる。	
	夏の星 ・夏の夜空の星を観察し、色や明るさのちがう星があることをとらえることができる。 ・星座を観察し、星の並び方は変わらないが時刻によって位置が変わることをとらえることができる。	
月や星 ・月や星の位置や動きについて調べ、月や星は動いていることをとらえることができる。	後 期	
とじこめた空気と水 ・閉じこめた空気を押ししたときのかさと押し返す力の関係をとらえることができる。 ・閉じこめた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことをとらえることができる。	後 期	
秋と生き物 ・夏に調べた動物や植物を観察し、涼しい秋の季節での生き物の様子をとらえることができる。	後 期	
ものあたまり方 ・金属は熱せられた部分から順にあたまることをとらえることができる。 ・水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたまることをとらえることができる。		
冬と生き物 ・秋に調べた動物や植物を観察し、寒い冬の季節の生き物の様子をとらえることができる。		
冬の星 ・冬の夜空に見られる星座についてとらえることができる。		
ものの温度と体積 ・金属、水および空気は、あたためたり冷やしたりすると、そのかさが増えることをとらえることができる。		
水のすがた ・水は、温度によって水蒸気や氷に変わることをとらえることができる。 ・水は温度によって状態が変化し、氷になると体積が増えることをとらえることができる。		

理科の評価

・理科では4つの観点で評価します。

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解
自然事象に興味・関心を持って追究し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとする。	自然事象の変化とその要因とのかかわりに問題を見だし、変化と関係する要因をとらえ、問題を解決する。	簡単な器具や材料を見つけたり、使ったり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果をわかりやすく表現する。	動物の活動や植物の成長の仕方は環境条件と関係があることや、空気、水、電気などにはきまった性質や働きがあること、月や星の位置や水が変化していることなどを理解している。

・次のような方法で見えていきます。

発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度

おうちの方へ

月や星の観察などの自然観察学習では、学校だけでは十分にできないものもあります。休日などを利用して自然にふれる機会を設けていただくようお願いします。また、動植物の飼育観察など、ご家庭でする機会があれば、学習効果が大きく上がると思います。